



平成23年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年9月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 日本エム・ディ・エム
コード番号 7600 URL <http://www.jmdm.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大川 正男

問合せ先責任者 (役職名) IR部長

(氏名) 棟近 信司

TEL 03-3341-6705

四半期報告書提出予定日 平成22年10月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年5月期第1四半期の連結業績(平成22年6月1日～平成22年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年5月期第1四半期	2,181	△4.7	42	△43.9	△126	—	△101	—
22年5月期第1四半期	2,289	△8.4	76	—	△61	—	△2,639	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年5月期第1四半期	△3.84	—
22年5月期第1四半期	△99.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年5月期第1四半期	18,171	11,448	63.0	432.63
22年5月期	19,099	11,654	61.0	440.42

(参考) 自己資本 23年5月期第1四半期 11,448百万円 22年5月期 11,654百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年5月期	—	0.00	—	5.00	5.00
23年5月期	—	—	—	—	—
23年5月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年5月期の連結業績予想(平成22年6月1日～平成23年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,850	1.4	220	△45.3	130	148.7	70	—	2.65
通期	10,200	3.1	700	△14.5	520	9.3	300	—	11.34

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年5月期1Q 26,475,880株 22年5月期 26,475,880株

② 期末自己株式数 23年5月期1Q 13,857株 22年5月期 13,837株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年5月期1Q 26,462,033株 22年5月期1Q 26,462,253株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第1四半期連結累計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
販売実績	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当企業集団の当第1四半期連結累計期間における売上高は、2,181百万円（前年同四半期比4.7%減）、営業利益42百万円（同43.9%減）、経常損失126百万円（前年同四半期は経常損失61百万円）、四半期純損失101百万円（前年同四半期は四半期純損失2,639百万円）となりました。

主な要因は次のとおりであります。

売上高は、米国での連結子会社Ortho Development Corporation（以下ODEV社）の売上が大幅に伸長（前年同四半期比30.2%増）しましたが、国内売上高は平成22年4月に行われた償還価格引下げの影響を受け、また、競合他社との競争激化により減収（同9.9%減）となりました。この結果、売上高合計は2,181百万円（同4.7%減）の計上となりました。

営業利益では、自社製品売上高比率が前年同四半期34.9%から37.0%に増加したこと及びたな卸資産評価損計上額が前年同四半期から改善されたことなどから、売上原価率が大幅に改善され37.9%（前年同期比2.3ポイント改善）となりました。販売費及び一般管理費は、ODEV社での研究開発費用の増加及び売上伸長に伴う経費増加などを受け、前年同四半期比19百万円増加となったことから、営業利益は前年同四半期比33百万円（43.9%）減益の42百万円となりました。

経常利益は、営業外費用として急激な円高進行により、主にODEV社に対する外貨建て貸付金に係る為替評価損を原因とする為替差損133百万円を計上したことなどから経常損失126百万円（前年同四半期は経常損失61百万円）の計上となりました。

特別損失は、固定資産除却損12百万円、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額として8百万円を計上したことなどから23百万円の計上となり、四半期純損失101百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本

売上高は1,796百万円、営業損失は10百万円となりました。

②米国

売上高は601百万円、営業利益は49百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ927百万円減少し、18,171百万円となりました。

主な減少は、受取手形及び売掛金236百万円、商品及び製品165百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ721百万円減少し、6,723百万円となりました。

主な減少は、短期借入金436百万円、未払費用222百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ206百万円減少し、11,448百万円となりました。

主な減少は、利益剰余金233百万円であります。

連結キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ147百万円減少し、2,169百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

売上債権の増減額が144百万円増加したこと、法人税等の支払額が164百万円増加したことなどにより前年同四半期比114百万円減少の486百万円のネット入金額となりました。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出66百万円などから、前年同四半期比45百万円支出減少の65百万円のネット支払額となりました。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の返済200百万円、長期借入金の返済225百万円などによりネット557百万円の支払額となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成22年7月14日に開示いたしました当期における第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想は変更いたしません。なお、当社の連結業績予想の前提としている対ドル為替レートの変動により予想値が大きく変動する可能性があります。

なお、連結業績予想の前提としている対ドル為替レートは1ドル92円であります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当する事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

① たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として、合理的な方法により算出する方法によっております。

また、当第1四半期連結会計期間末におけるたな卸資産の評価方法については、前連結会計年度と同様に、販売期間が一定の回転期間を超えるものについて定期的に帳簿価額を切り下げる評価方法を適用しておりますが、当該評価方法に用いる一部の基礎的数値については、前連結会計年度と同一の数値を使用し算定しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益が482千円減少、経常損失が482千円増加、税金等調整前四半期純損失が9,089千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,169,012	2,316,049
受取手形及び売掛金	1,651,537	1,888,003
商品及び製品	6,303,471	6,468,609
仕掛品	55,225	49,120
原材料及び貯蔵品	410,990	485,431
繰延税金資産	406,549	336,061
その他	458,102	651,717
貸倒引当金	△13	△49
流動資産合計	11,454,875	12,194,944
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	684,347	684,613
機械装置及び運搬具(純額)	42,483	48,195
工具、器具及び備品(純額)	1,921,532	2,077,961
土地	2,154,324	2,155,461
その他	42,193	44,878
有形固定資産合計	4,844,879	5,011,109
無形固定資産	129,484	139,928
投資その他の資産		
投資有価証券	7,052	7,986
繰延税金資産	1,663,704	1,672,881
その他	73,735	74,732
貸倒引当金	△2,378	△2,378
投資その他の資産合計	1,742,114	1,753,221
固定資産合計	6,716,479	6,904,259
資産合計	18,171,354	19,099,203
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	315,213	277,111
短期借入金	5,101,900	5,537,942
リース債務	1,214	1,214
未払法人税等	26,360	204,826
未払費用	159,596	382,587
未払金	101,856	161,404
賞与引当金	108,741	—
その他	380,996	332,864
流動負債合計	6,195,879	6,897,951
固定負債		
長期借入金	50,000	80,000
リース債務	4,352	4,656
退職給付引当金	445,704	457,188
資産除去債務	22,273	—
長期未払金	3,960	3,960
長期預り金	1,000	1,000
固定負債合計	527,289	546,805
負債合計	6,723,169	7,444,756

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,001,929	3,001,929
資本剰余金	2,587,029	2,587,029
利益剰余金	5,762,846	5,996,741
自己株式	△26,024	△26,019
株主資本合計	11,325,780	11,559,679
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	845	1,399
為替換算調整勘定	121,559	93,368
評価・換算差額等合計	122,405	94,767
純資産合計	11,448,185	11,654,447
負債純資産合計	18,171,354	19,099,203

(2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)
売上高	2,289,107	2,181,793
売上原価	920,880	827,513
売上総利益	1,368,227	1,354,280
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	29,188	29,458
販売促進費	47,984	37,153
広告宣伝費	3,513	3,453
給料及び手当	467,705	488,537
退職給付費用	952	9,972
法定福利費	49,073	54,596
福利厚生費	27,389	22,884
旅費及び交通費	29,503	37,959
減価償却費	214,974	183,772
租税公課	13,834	12,048
研究開発費	36,098	57,989
その他	371,397	373,456
販売費及び一般管理費合計	1,291,616	1,311,281
営業利益	76,610	42,998
営業外収益		
受取利息	96	461
受取配当金	188	205
業務受託料	—	4,963
その他	4,948	4,784
営業外収益合計	5,232	10,415
営業外費用		
支払利息	42,938	22,660
手形売却損	2,095	1,711
為替差損	76,332	133,763
シンジケートローン手数料	21,127	20,821
その他	767	1,129
営業外費用合計	143,260	180,085
経常損失(△)	△61,417	△126,672
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,967	36
特別利益合計	3,967	36
特別損失		
固定資産売却損	123	2,926
固定資産除却損	13,262	12,333
たな卸資産評価損	3,500,000	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	8,607
特別損失合計	3,513,385	23,867
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,570,835	△150,503
法人税、住民税及び事業税	2,209	21,184
法人税等調整額	△933,275	△70,103
法人税等合計	△931,065	△48,918
四半期純損失(△)	△2,639,769	△101,584

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,570,835	△150,503
減価償却費	235,231	200,741
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,967	△36
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△296	△11,484
賞与引当金の増減額(△は減少)	95,223	108,741
受取利息及び受取配当金	△284	△666
支払利息及び手形売却損	45,033	24,371
シンジケートローン手数料	21,127	20,821
為替差損益(△は益)	91,780	140,466
固定資産除売却損益(△は益)	13,385	15,260
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	8,607
売上債権の増減額(△は増加)	139,814	283,894
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,779,640	174,402
仕入債務の増減額(△は減少)	18,096	18,375
未払賞与の増減額(△は減少)	△183,870	△195,807
未払又は未収消費税等の増減額	△6,533	84,152
その他	△18,294	△34,336
小計	655,251	686,998
利息及び配当金の受取額	271	574
利息の支払額	△40,988	△24,190
シンジケートローン手数料の支払額	△1,127	△821
法人税等の支払額	△11,807	△175,826
営業活動によるキャッシュ・フロー	601,600	486,734
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△110,868	△66,269
有形固定資産の売却による収入	1,369	246
無形固定資産の取得による支出	△2,395	△662
その他	1,004	863
投資活動によるキャッシュ・フロー	△110,889	△65,822
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,377,704	△200,000
長期借入金の返済による支出	△300,000	△225,000
リース債務の返済による支出	△1,503,134	—
自己株式の取得による支出	△56	△4
配当金の支払額	△107,098	△132,515
財務活動によるキャッシュ・フロー	△532,586	△557,519
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,052	△10,430
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△42,927	△147,037
現金及び現金同等物の期首残高	2,307,205	2,316,049
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,264,277	2,169,012

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当する事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)

当企業集団における事業の種類は「医療機器事業」のみであるため、該当する事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,992,838	296,269	2,289,107	—	2,289,107
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	136,282	136,282	(136,282)	—
計	1,992,838	432,551	2,425,390	(136,282)	2,289,107
営業利益又は営業損失(△)	△1,095	△3,900	△4,995	81,606	76,610

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

- 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
北米……米国

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)

	北米	その他	計
I 海外売上高(千円)	293,442	2,826	296,269
II 連結売上高(千円)	—	—	2,289,107
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	12.8	0.1	12.9

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

- 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
北米……米国

- 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当企業集団における事業の種類は「医療機器事業」の単一セグメントであります。報告セグメントは分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当企業集団は「医療機器事業の整形外科用品」を製造・販売しており、日本には親会社である株式会社日本エム・ディ・エム(当社)、米国に海外子会社(Ortho Development Corporation)が独立した経営単位として事業活動を展開しております。

したがって当企業集団は、製造・販売を基礎とした地域別(国別)セグメントから構成されており、「日本」、「米国」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成22年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,796,107	385,686	2,181,793	—	2,181,793
セグメント間の内部売上高 又は振替高	236	215,508	215,745	(215,745)	—
計	1,796,343	601,194	2,397,538	(215,745)	2,181,793
セグメント利益又は損失(△)	△10,081	49,946	39,865	3,132	42,998

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去3,132千円が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当する事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当する事項はありません。

4. 補足情報

販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称及び品目		当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日)	前年同四半期比
		金額(千円)	(%)
医療機器類	日本国内販売	1,796,107	—
	骨接合材料	904,736	—
	人工関節	559,730	—
	脊椎固定器具	160,527	—
	その他	171,112	—
	米国販売	385,686	—
	人工関節	280,754	—
	脊椎固定器具	99,194	—
	その他	5,737	—
合計		2,181,793	—

(注) 1 セグメント間の取引については相殺消去しております。また、上記金額に、消費税は含まれておりません。

2 連結子会社ODEV社の第1四半期期末日は6月30日であり、同社の業績については、当第1四半期は4-6月の3ヶ月間の期中平均レートで換算し算定しております。